

小林禧夫埼玉大学名誉教授業績賞受賞

本会会員の小林禧夫埼玉大学名誉教授が本年5月28日に電子情報通信学会より業績賞を受賞されました。先生の長年の研究の中で、“複素誘電率の高精度測定法の確立とそのマイクロ波応用技術の確立”が電子情報通信学会より、電子工学及び情報通信に関する新しい発明、理論、実験、手法などの基礎的研究であり、その成果が学問分野への貢献が明確であるもの、あるいは電子工学及び情報通信に関する新しい機器、または方式の開発、改良、国際標準化でその効果が顕著であり、その業績が明確になったとし、研究成果が基礎的研究成果と評価技術が国際規格となり受賞されました。



先生は誘電体共振器の厳密な電磁界解析を世界に先駆けて成功し、すべての共振モードに関する共振周波数の高精度計算法を確立しました。その解析を基に誘電体円柱試料を評価するための両端短絡形誘電体円柱共振法を確立しました。本手法はセラミック円柱の評価技術は国際規格として各国で採用され、新材料開発に利用されました。その一例として高誘電体低損失かつ高安定温度特性のセラミックス材料が開発された結果、さまざまな小型誘電体フィルターが開発されました。勃興期にあった移動体通信基地局用フィルターとして採用されましたにはほんの一例です。
(文責：柴富)



5月28日の受賞式で授与されたメダルと賞状

